

平成29年10月4日
国土交通省 岩手河川国道事務所

復興支援道路【宮古盛岡横断道路】

宮古盛岡横断道路工事受注者による清掃活動を実施します！

～秋の行楽シーズン、真っ只中！道の駅等を清掃～

国土交通省岩手河川国道事務所では、国道106号宮古盛岡横断道路（復興支援道路）の事業を進めているところですが、この度、工事受注者で構成される「宮古盛岡横断道路安全協議会」により、国道106号にある道の駅等の清掃を実施します。

宮古盛岡横断道路工事現場からの土砂運搬にあたっては、各工事現場出口部にダンプトラック用泥落とし装置の設置や清掃等により道路を汚さないよう努めているところですが、工事用ダンプトラックが多く通行する国道106号等においては、車道路側に土砂が堆積するなど汚れが目立つ区間が認められます。

このため、秋の行楽シーズンを快適に過ごしていただくために宮古盛岡横断道路の工事受注者（12工事12社）により国道106号の道路汚損が著しい箇所や道の駅「やまびこ館」、道の駅「区界高原」、盛岡東部産直センター「てんぐの里106」周辺の清掃活動を行うものです。

◆清掃実施日

1. 日 時：平成29年10月6日（金）9：00～10：00（1時間程度）
※降雨等により清掃活動が困難と判断した場合は、中止します。
2. 場 所：国道106号（道の駅「やまびこ館」、道の駅「区界高原」、盛岡東部産直センター「てんぐの里106」、その他道路汚損の著しい箇所）
3. 内 容：車道路肩、歩道等の堆積土砂撤去・清掃、及びゴミ拾い
4. その他：取材をされる際は、8時30分までに道の駅「区界高原」にお越しく下さい。【別紙参照】

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会》

問い合わせ先

【事業に関すること】

国土交通省 岩手河川国道事務所 電話：019-624-3131（代表）
副所長 十枝内 美範
工務第二課長 佐々木 稔

【清掃活動に関すること】

宮古盛岡横断道路安全協議会 幹事長 電話：0193-77-3697
鹿島・東急JV 西川 幸一

取材の集合場所および清掃箇所

別紙



この地図は、国土地理院長の承認を得て、
同院発行の電子地形図(タイル)を複製した
ものである。
【承認番号 平29東複、第33号】

【清掃箇所】
道の駅「やまびこ館」



宮古盛岡横断道路は物流の効率化を促進し地域産業の活性化を支援

◆宮古盛岡横断道路の整備による時間短縮(宮古～盛岡間で約30分短縮)、隘路解消により、海産物の鮮度保持や製造品の品質確保が図られ、地域産業の活性化を支援。



写真：宮古市



宮古市のサケ漁獲量は**本州1位**※

※農林水産省 海面漁業生産統計調査 (H27)

岩手県のコネクタ出荷額は**全国7位**※

※経済産業省 工業統計 (H26)

宮古盛岡横断道路は救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保

◆救急搬送では宮古地域からの管外搬送のうち約7割が盛岡市の医療施設へ搬送。宮古盛岡横断道路の整備により救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保。

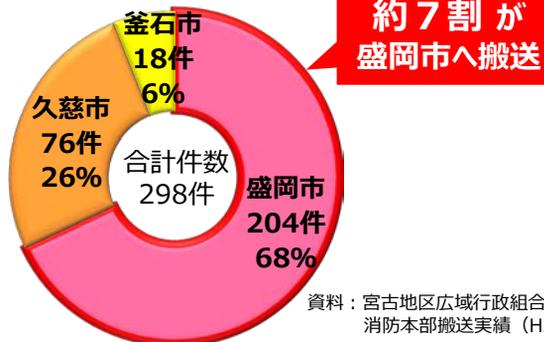
▼宮古地区の管外搬送先内訳

道路整備による所要時間の短縮効果

宮古市役所～岩手医大附属病院



・時間短縮はH22道路交通センサスを基に算出(将来は道路構造に応じた速度で算出)
 ※岩手医科大学附属病院はH31移転予定地として算出



約7割が盛岡市へ搬送

資料：宮古地区広域行政組合 消防本部搬送実績 (H27)

宮古盛岡横断道路は周遊観光圏域を拡大し観光振興に寄与

◆豊富な観光資源を有する地域間のアクセス性向上により、周遊観光圏域が拡大し、観光振興に寄与。

▼時間圏域の変化



時間短縮はH22道路交通センサスを基に算出(将来は道路構造に応じた速度で算出)

